

報告会 の概要

基調講演

「古代の都城・山城と鞠智城」

稲田 孝司（岡山大学名誉教授）

西日本各地に所在する古代山城と鞠智城を比較し、その城壘構造、築造年代等について検討するとともに、藤原宮以降の都城の建築様式と古代山城の城壘築造技術の関係について考える。

報告1

「8世紀西海道における対外防衛政策のあり方と朝鮮式山城」

大高 広和（福岡県世界遺産登録推進室）

◎白村江の敗戦に伴う海外からの侵略の危機が去った8世紀以降もなぜ鞠智城が存続したのかを明らかにする研究。

報告2

「肥後地域における鞠智城と古代寺院について」

貞清 世里（西南学院大学大学院博士課程）

◎肥後地域における古代寺院と鞠智城の関係性について明らかにする研究。

報告3

「造瓦組織編成からみた肥後地域における地方支配展開に関する研究」

早川 和賀子（九州大学大学院博士課程）

◎肥後において鞠智城、及び古代寺院がどのように造営されたのかを明らかにし、律令導入前後の地方への国家の関与の程度や労働力編成の様相を明らかにする研究。

報告4

「鞠智城が肥後在地社会に与えた影響」

古川 順大（九州大学大学院博士課程）

◎鞠智城が肥後国の社会や有力氏族に与えた影響を、8世紀における軍事制度の検討から明らかにする研究。

報告5

「鞠智城築城の背景 - 肥君の拠点と交通路の複眼的検討 -」

宮川 麻紀（東京大学大学院博士課程）

◎鞠智城の築城にあたり、肥後国菊池郡の地が選ばれた歴史的背景を明らかにする研究。

講評

岡田 茂弘（国立歴史民俗博物館名誉教授） 佐藤 信（東京大学大学院教授）

鞠智城跡「特別研究」成果報告会 申込要項

参加費 無料

申込方法

本紙下記にご記入の上、FAX、郵送またはメールで熊本県教育庁教育総務局文化課までお申込みください。

申込締切

2月20日(水)必着

定員

300名

FAX 096-384-7220

〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18-1 / 熊本県教育庁教育総務局文化課

メールアドレス onnkosousei@pref.kumamoto.lg.jp

■メールでお申込みの方は、お名前・住所・電話番号をご記入の上、上記メールアドレスにお送りください。

【個人情報の取り扱いについて】参加申込みによりお知らせいただいた個人情報につきましては、報告会の参加登録のみに使用いたします。

お問い合わせ TEL 096-333-2707

※事前申込みをお願いします。
申込みをされた方には入場券をお送りします。
申込みをされていない場合も当日参加できますが、申込みされている方を優先してご案内します。

鞠智城跡「特別研究」成果報告会参加申込み

お名前	フリガナ
TEL	
ご住所	〒

くまもと県民交流館パレア・パレアホール
熊本市中央区手取本町8-9 テトリアくまもとビル10F

